

SSK銀鈴増刊



ぎんれいだより

H 28 年春号

平成 28 年度の

スタートにあたり

会長 松山雅則

皆さんこんにちは。

銀鈴会の平成 27 年度の活動は 3 月をもって終了し、この 4 月からは平成 28 年度の活動が始まります。

3 年に亘って行われた 60 周年記念の行事も昨年末の 60 年史の発行をもってすべてが終了いたしました。昨年度の銀鈴会の行事も 2 月のスピーチ発表と家族座談会をもって無事終了いたしました。ご協力いただき本当にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。

さて、今年は 6 月の定期総会後の声の祭典では従来のスピーチ大会に代えてカラオケ大会を計画しています。10 月には秋の旅行、11 月には全国発声大会があり 9 月にその予選会が予定されています。

また、昨年はつくくみさんの影響で

編集：公益社団法人銀鈴会

東京都港区新橋 5-7-13

ビュロー新橋 901

Tel：03-3436-1820

1971 年 6 月 17 日第 3 種郵便物認可

(毎月 6 回 5 の日・0 の日発行)

SSK 銀鈴臨時増刊 ぎんれいだより

NO.3 2016 年 3 月 29 日発行

増刊通巻第 4742 号 定価 50 円

発行：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102

食道発声が話題となり、賛助会員制を進める上での大きな力となりました。

平成 28 年度も、更なる銀鈴会の発展と改善を進めるためには賛助会員の皆様のご支援が必要不可欠です。昨年にも増してお力添えを賜りたく心よりお願い申し上げます。

今年 1 年また皆さんと共に、新しい時代に対応する銀鈴会を作り上げて行きたいと思っています。共に頑張りましょう！

声の祭典

カラオケ大会

平成 28 年 6 月 18 日(土)

◇銀鈴会◇

人に会う、会話を愉しむ笑顔の暮らしが戻ってくる銀鈴会の毎日です。



<http://www.ginreikai.or.jp/>

ホームページがリニューアルされ、ホットな話題が評判です。

◇日喉連◇

日喉連は「日本喉摘者団体連合会」の略称です。

声よふたび

NPO法人 日喉連

<http://www.nikkouren.org/>

日喉連

平成 27 年度

音声機能障害者発声訓練

平成 27 年 9 月 28 日(月) から 9 月 30 日(水) 発声訓練士養成事業研修会が、NPO 法人日喉連 東日本プロジェクト主催で山梨県甲府にて 11 団体 63 名の参加者で開催されました。

障害者の社会復帰促進、発声訓練士の指導技術向上を目指し、今回で 28 回目を迎えます。今回は、山梨県中央病院外科統括部(耳鼻咽喉科)部長平賀幸弘先生の「頭頸部癌における喉頭温存の進歩」、日喉連 松山雅則会長の「日喉連の課題と今後の活動」、山梨県障害者福祉協会 竹内正直理事長の「可能性への熱い挑戦」、(公社)銀鈴会 半田建二発声訓練士の

「シヤント発声に対する理解の共通化・シヤント発声」の講演、及び研修会のテーマである「食道再建者への指導方法」、「入会者の減少・退会者の増加等の要因」について各グループで討議を行い、その結果を代表者が発表し、活発な意見交換が行われました。

参加者

(公社) 銀鈴会 (東京都)	13 名
栃木県喉摘会 (栃木県)	2 名
茨城県声会 (茨城県)	7 名
横浜市港笛会 (横浜市)	5 名
群鈴会 (群馬県)	3 名
神奈川銀鈴会 (神奈川県)	2 名
埼玉銀鈴会 (埼玉県)	8 名
山梨県喉会 (山梨県)	7 名
京葉喉友会 (千葉県)	6 名
新潟県美鈴会 (新潟県)	5 名
長野信鈴会 (長野県)	5 名
参加者合計	63 名

銀鈴会 60 年史発行



創立 60 周年の記念行事として『声帯を失った人による歌の大祭典』『創立 60 周年記念祝賀会』を開催し、残された行事としての『銀鈴会 60 年史』が発行されました。

編集にあたり 60 年史ではありますが、この 10 年のあゆみに焦点を絞りシンプルにまとめ、コンパクトで読みやすいものにいたしました。

約 1 年を掛けてようやく完成することが出来ましたのでお届けいたします。

B5 版の布製のハードカバーで重厚な造りになっており、一冊千五百円で販売しております。

まだお求めになつておられない方は、銀鈴会事務局又は発声教室の受付までお声をかけてください。

松山会長

耳鼻咽喉科医会にて講演

平成 27 年 9 月 17 日（木）東京都中央区八重洲のベルサール八重洲に於いて松山会長が「無喉頭・気管孔呼吸者の音声再獲得とケアの実際」というタイトルで講演しました。

この集いは銀鈴会特別常任顧問の福田先生が顧問をされていらつしやる東京都城東地区耳鼻咽喉科医会の先生方 70 名が参加されました。

銀鈴会のすずらの会の女性コーラスが「♪歩こう ♪明日があるさ」を食道発声で歌いました。



↑ 歌うすずらの会



講演中の松山会長 →

がんサバイバーシップ

シンポジウム 2015

平成 27 年 12 月 19 日（土）がんサイバーシップシンポジウム 2015 が、国立がん研究センターがん対策情報センター主催で千代田区外神田の UDX ギャラリーネクストホールにおいて開催されました。

「私のがんと就労」と題し銀鈴会の村本さんが体験談を語られました。

◇村本高史さんのプロフィール

（サッポロビール株式会社 経営戦略部 プランニング・ディレクター）

1987 年サッポロビール株式会社入社。開発・広告等のマーケティング部と人事部を経験、2011 年、人事総務部長当時に頸部食道がんが再発し、手術で喉頭全摘・空腸移植。復職後、銀鈴会の教室に通学して食道発声を習得。現在は経営戦略部にて組織風土改革に携わる一方、闘病体験等を語る会を社内で開催。

会場風景



↓

日喉連

平成 27 年 11 月 30 日

公益財団法人社会貢献支援財団

社会貢献者表彰式典にて

表彰された全国 49 受賞者を代表して、式典の最後に長野県信鈴会の上條和男氏が挨拶をされました。挨拶の初めに声帯を失ったことを告げると、ご臨席の瑤子女王殿下（父が三笠宮寛仁親王）がとても驚いたような表情をされていたようでした。

障害者週間

内閣府・厚生労働省・東京都

☆ 東京都知事賞

栃木 芙美子 氏

平成 27 年 12 月 9 日

☆ 社会福祉法人

東京都社会福祉協議会賞

土屋 徳二 氏

田島 義則 氏

平成 27 年 12 月 18 日

☆ 公益財団法人

日本チャリティ協会

篠田 乃武子 氏

《作文入選》

「今、やつと穏やかな生活を…」

平成 27 年 12 月 9 日

平成 27 年度 第 36 回
家族座談会

平成 28 年 2 月 20 日（土）港区芝の東京都障害者福祉会館で、銀鈴会特別常任顧問の福田先生をお招きして「平成 27 年度 家族座談会」を開催しました。座談会では、事前に申し込みのあった医学的な質問に関しては福田先生が、発声、術後のケア、日常の生活等の質問に関しては主に訓練士が回答しました。会場の臨時の質問にも福田先生から回答頂き、家族を含め大勢の会員の方たちが熱心に聞き入っていました。

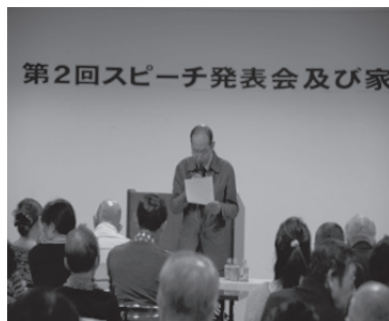
今回の質問、回答の内容は銀鈴会のホームページ及び、毎年発行している「銀鈴」誌に掲載の予定です。



質疑応答の続く会場

平成 27 年度 第 2 回
スピーチ発表会

家族懇談会に先立ち「第 2 回スピーチ発表会」が行われました。15 人の出場者が順にスピーチ発表を行い、日頃の練習成果を十二分に発揮し、会場から温かい拍手が送られました。◇発表会出場者（発表順、敬称略）初心クラス【関根廣重、平尾秋夫、小林勝正、菅原圭一】初級クラス【清水好廣、入江美佐子】中級クラス【安見真知子、佐々木昭夫】上級クラス【松島兼行、北迫正男、江口仁】E レクラス【佐々木武夫、青柳修、菊間壽】シャントクラス【平田建二



参加者データ分析中の福田先生

「出場者表だけではデータが少ないのですが、初心の方も含めて、今後邁進して出場くだされば必ず今日の上級者、あるいはそれ以上の発声になると思います。」という福田先生の励ましの講評がありました。

秋季研修親睦旅行

伊豆半島の旅

平成 27 年 10 月 25～26 日



伊豆熱川温泉

伊豆中央道から修善寺道路を経由して「淨蓮の滝」到着。伊豆の踊り子像に別れを告げて 3 段ループ橋を渡り、時期外れの河津桜堤を快走した。今井浜海岸より東伊豆街道を北上し、今夜の宿「熱川ハイツ」には夕方 4 時ころに到着した。

心温まるぬくもりの温泉「ふれあいの湯」に入り一日の旅の疲れを癒す。遠く伊豆七島を望む自然、天気の良い日には大島が近くに見える。伊豆大島の御神火の三原山は世界三大流動性火山の一つだそう。

夜 8 時より宴会開始、みなさんよく飲み、よく食べ、元気に歌う様子は銀鈴会のパワーそのものである。

（声友クラブ 小島啓三）

賛助会員募集のお願い

銀鈴会は、コミュニケーションに必要な声の習得をとおして、社会復帰、術後の管理ケアおよび会員相互の親睦をはかっています。当会の事業目的に賛同し、活動を支援して下さる賛助会員を募集しています。

多くの皆様からのご支援をもとにさらに充実した活動が続けてまいりたいと存じます。お力添えくださいますよう心からお願い申し上げます。

年会費

法人賛助会員 一口五千元 六口以上
個人賛助会員 一口五千元 一口以上
期間 四月～翌年の三月まで

申し込み等問い合わせ先

公益社団法人銀鈴会 事務局 高梨泰弘

〒105-0004 東京都港区新橋 5-7-13

ビュロー新橋 901

TEL : 03-3436-1820 FAX : 03-3436-3497

E-mail : office@ginreikai.or.jp

ホームページ : <http://www.ginreikai.or.jp>

ご支援有り難うございました

ご寄付及び賛助会費をご送付いただいた皆さま 平成 28 年 3 月末日 現在

(五十音順 敬称略)

アシダ音響株式会社、株式会社アトスメディカルジャパン、株式会社インターネットイニシアティブ、株式会社ABC店舗、有限会社エコプロセス、SMB C 日興証券株式会社、株式会社岡村製作所、株式会社オフセットクリーン、鹿島建設株式会社、三協立山株式会社、株式会社スーパーポテト、医療法人社団順康会、株式会社鈴木保有社、住友林業株式会社、関野運輸株式会社、泉工医科貿易株式会社、全日本相撲甚句協会、綜研化学株式会社、株式会社ソリューションハウジング、第一医科株式会社、株式会社第一興商、太成倉庫株式会社、株式会社大染、株式会社大和証券グループ本社、株式会社電制、東京医科大学看護専門学校、東京ガレージ株式会社、南武建設株式会社、ニチハ株式会社、日本ガレージサービス株式会社、有限会社野沢正光建築工房、株式会社ハーフ・センチュリー・モア、医療法人社団白翔会、橋本総業株式会社、原田産業株式会社、株式会社福祉施設共済会、株式会社プロティア・ジャパン、三井住友カード株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社明電舎、株式会社名優、山崎製パン株式会社、医療法人社団良宗会、株式会社レーサム、株式会社ロッテ、和以美株式会社

青木佑一、赤津正浩、秋元一郎、秋元洋一、浅香高秀、朝田禮一、旭潔、足立健之助、安藤純一、安藤増雄、飯島敏慎、石川眞佐子、石塚康夫、石原文雄、市田治弥、市吉將浩、井出麻喜子、伊藤仁、稲一夫、井上貴之、井上洋一郎、今成清、岩倉保禮、岩崎伸、岩崎堅司、岩間和夫、上木明男、上田貞行、上樫政隆、宇佐美昭夫、梅崎伸、江口仁、榎本節子、江原澄、江原里美、江原節子、大井卓雄、大條文也、大河原敏夫、大貫貞子、大貫美智子、大野勇三、大浜保道、岡田悠紀子、岡島正恒、岡戸富美子、小川秀子、奥島茂、奥原修、小佐野郷子、鬼沢直維、小野寺葉子、笠木桃子、梶山和秀、勝俣直躬、加藤紘一、加藤芙美子、上遠野美智絵、角倉孝夫、金井貞治、鎌田優子、亀之内二三子、茅史郎、川崎光夫、川鍋千枝子、勘崎芳樹、上林輝男、菊池武弘、北迫正男、城所忠男、櫛田敬子、窪井純子、久保力男、黒川洋子、小池信司、小酒大司、越田和恵子、熊川喜代司、腰山道子、後藤眞久、小濱利重、小林宏、小宮和夫、近藤章、齋藤隆、坂上典子、佐久間博、佐々木昭夫、佐藤圭吾、佐藤賢治、佐藤茂樹、佐藤友子、佐藤康代、佐野幸孝、山後弘子、山後祐介、鹿内健悦、宋倉康雄、篠清市、篠奈津子、篠美登里、芝満雄、島田厚子、島田初夫、清水泉、清水和夫、清水勢津夫、清水保良、シャントクラス、朱宮裕子、正願地孝子、莊司等、菅原芳彦、杉山喬、須崎武房、鈴木栄子、鈴木邦忠、鈴木孝子、鈴木時子、鈴木紀男、鈴木正子、鈴木三智子、鈴木光子、すずらんの会、砂長治、隅谷貞子、隅谷政紀、相馬麻衣子、醍醐輝世、高橋健二、高橋敏夫、高橋剛、高橋もと子、高橋泰明、高山幸明、滝沢知誠、滝澤知峰、田尻直樹、田代實、立石善一、田村さた、田村久子、田村元行、千葉求、辻文子、寺澤永祥、栃木謙治、富田英雄、永井芳子、中西昭雄、中野晴充、中鉢正、中村明美、中村薫、名越一郎、新美勝正、西敏子、西野宏、西村恵三郎、長谷川サイ、長谷川峰子、羽田野富美雄、服部カツヨ、馬場金五郎、馬場真人、浜野耕平、林芳紀、原口健次郎、張江勤、半田建二、東幸子、樋口三男、檜森聖三、平本清司、蛭田澄美枝、福島英子、福原秋夫、藤野由美子、藤原桂子、普天間有子、古谷等、星芳文、堀内武、本田学、本間廣俊、前田知子、牧野清、正木壽子、増田惣一、松清平、松澤茂行、松田幸雄、松本博、松山光志、松山寿美子、松山雅哉、松山雅則、丸山統雄、美川憲一、右田正隆、三澤武雄、水島雅晴、三田佳子、宮里眞用、宮本啓三、村田恵子、村松繁雄、村本高史、望月千代美、八木清文、矢島藤人、安田祥子、安野智、屋中一夫、山岸正央、山口春吉、山口平男、山崎浩子、山田保明、山田善宣、山寺勉、山本勇、由紀さおり、横井俊三、吉田長幸、吉田美保子、吉原東洋輝、脇田誠照、渡邊鐵雄、渡邊操、渡邊理加子、和田敦子、和田栄子、R. Takizawa、T. Takizawa、E.K.、F.T.、H.C.、I.N.、K.A.、K.M.、M.M.、N.M.、N.T.、O.T.、O.Y.、S.K.、T.M.、Y.S.